

## 新任医師紹介

佐野 義洋 (内科医長)

このたびはお世話になります。10月より聖隸富士病院で勤務させていただることになりました佐野と申します。富士第一小学校を卒業後、高校まで富士市で生活し、その後、東京に20年間近くいました。小学生のころ、バスに乗って富安橋から吉原の商店街まで行くのがちょっとした冒険だったのが懐かしいです。久しぶりに周辺を散策したら、ひのやは静鉄ストアへ、製紙工場はCOOPとエディオンに、ジャンボエンチヨーは二階建てに変身していて驚きました。懐かしい故郷に帰り、今後、地元の医療に少しでも貢献していけたら幸いです。どうぞよろしくお願いします。



## お知らせコーナー

### 一面会時間

平日…午後 3:00～午後 8:00  
土・日・祝日…午前 10:00～午後 8:00

☆予約について／お電話での予約の変更・問い合わせについて、月曜～金曜日の午後2時～4時45分の間に受けしております。

## 禁煙外来のお知らせ

当院の禁煙外来は下記になります。予約の必要はありません。  
月曜(脳神経外科)：午後(受付時間午後1時～3時)

水曜(内科)：終日(受付時間 午前8時～11時半、午後1時～4時)  
(ただし、担当医師が不在の時もあり、必ず病院に連絡してご確認下さい)

タバコを止めようと思っているのに、ご自分の意志ではなかなか止められない方は、ぜひ禁煙外来にお越し下さい。一緒に頑張ってみませんか。

## 求人情報

■【急募】医師 ■【急募】薬剤師(パート含む) ■【急募】臨床工学技士  
■【急募】看護師 ■【急募】臨床検査技師(パート含む) ■視能訓練士

お問合せは当院管理事務課の早房・山口まで、  
メールまたは電話で御願い致します。  
E-mail seireifuji@sis.seirei.or.jp  
TEL 0545-52-0780(代)



## 法人理念「隣人愛」

### 病院理念

私たちは、

人ととのつながりを大切にし、  
地域に貢献できる医療を目指します

### ◆交通アクセス

- ★東名富士ICより車で約10分
- ★新幹線新富士駅よりタクシーで約10分
- ★吉原中央(バス)駅より徒歩5分
- ★岳南鉄道吉原本町駅より徒歩3分



## 駐車場のご案内

当院では、上記の専用駐車場を用意致しております。  
ご来院の際は係員の誘導に従って駐車して下さい。  
駐車場は有料となっております、ご了承下さい。

日本医療機能評価機構認定病院  
一般財団法人 恵愛会 聖隸富士病院

〒417-0026 富士市南町3番1号  
TEL (0545) 52-0780(代) FAX (0545) 52-5837  
<http://www.seirei.or.jp/rel/fuji>

訪問看護ステーション けいあい 訪問看護ステーション かみや  
居宅介護支援事業所 けいあい 居宅介護支援事業所 かみや  
〒417-0026 富士市南町1-32 〒417-0821 富士市神谷592-3  
TEL(0545) 54-2320 TEL(0545) 39-0808  
FAX(0545) 54-2321 FAX(0545) 39-0810

## 聖隸富士病院 院外報

2016年11月1日発行  
発行責任者：小里俊幸

# 恵愛だより 11月号 No.154

## 第14回 院内学会



10月22日に第14回院内学会が開催されました。恵愛会の職員が日ごろの業務上の課題や改善された点について継続的な調査と研究を行い、その結果や成果の発表が行われました。日々の業務に目標を持ち、更なる向上を目指して検討・研究を続けることが、より良質な医療を提供するために必要であると考えます。

今年は聖隸沼津病院からの招待演題を含む21演題の発表が行われ、緊張感の中で順々と進行し、質疑応答では活発な意見のやり取りが行われました。

この学会での検討事項を活かし、日常の業務改善や医療の質の向上に寄与することで、患者様や地域の皆様に貢献できるよう、法人・病院全体で努めています。

（文責：人材育成委員会）

## 糖尿病教室

9月25日(日)に患者様向けサービスの一環として、糖尿病もしくは糖尿病予備軍と言われた事のある方を対象にした「糖尿病教室」を開催しました。テーマは『知って得する糖尿病』で、当日は22名の患者様が参加されました。

### 当日の教室の内容は…

1

糖尿病認定看護師が糖尿病の症状や合併症についてクイズ形式で出題し、グループで話し合いながら回答しました。



2

管理栄養士がバランスの良い食事の摂り方について講義を行い、1日に必要なエネルギー量をグループで計算し学習しました。



3

理学療法士が運動の効果や必要性の説明を行い、実際にその場で出来る運動を皆で体験しました。



4

薬剤師が糖尿病の治療薬(飲み薬や注射薬)について説明し、お薬手帳を元に自身が使用している薬や、薬物治療において重大な副作用である低血糖について学習しました。



参加者のアンケートでは「よくわかった」「役に立つ」「ためになった」とのご意見を頂き、皆で楽しく学べる教室を開催出来たと思います。

次回の開催の際も、皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

（文責：糖尿病療養支援委員会）

